

平成28年度

# 研修生募集要項

認定看護師教育課程（乳がん看護）

千葉大学大学院看護学研究科

附属看護実践研究指導センター

## 認定看護師教育課程（乳がん看護）研修生要項

### 1. 沿革

日本看護協会は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がり  
と質の向上を図ることを目的に認定看護師制度を発足させた。本制度のもとに、認定看護師教育課程が確立される中で、がん看護領域では、緩和ケア、がん性疼痛看護、がん化学療法看護  
に続いて、平成15年に乳がん看護分野が認定され、平成17年に千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター内に認定看護師教育課程を設置した。

### 2. 教育理念

看護実践研究指導センターの認定看護師教育課程は、特定された認定看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がり  
と質の向上を図ることを目的とする。

### 3. 教育目的

本認定看護師教育課程では、幅広い視野を持ち自立した判断ができ、看護実践を変革向上させていく創造能力を身につけ、かつ以下の3点の特定の認定看護分野の知識・技術を有する者を育成する。

- (1) 特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
- (2) 特定の看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行う。
- (3) 特定の看護分野において、看護職に対しコンサルテーションを行う。

### 4. 分野、定員、教育期間

分野名	乳がん看護	25名
教育期間	6ヶ月	
年間スケジュール		
開講式	平成28年 7月 1日	10時00分～
授業期間	平成28年 7月 1日 ～ 平成28年 12月22日	
	平成28年 8月15日 ～ 平成28年8月17日(夏期休業)(予定)	
閉講式	平成28年 12月22日	(予定)

5. 教育内容、授業時間数

(乳がん看護)

1. 乳がんの予防から終末期に至るまでの乳がん患者とその家族の QOL 向上に向けて、熟練した看護技術を用いて質の高い看護実践ができる能力を育成する。
2. 乳がんを有する患者の看護において、看護実践を通して他の看護職者に対して指導ができる能力を育成する。
3. 乳がんを有する患者の看護において、看護実践を通して他の看護職者に対して相談・支援ができる能力を育成する。

共通科目名	1 2 0	専門基礎科目	1 2 0		
リーダーシップ	1 5	腫瘍学概論		3 0	
文献検索・文献購読	1 5	がん看護学総論 1		3 0	
情報管理	1 5	がん看護学総論 2		3 0	
看護倫理	1 5	乳がん看護概論		1 5	
指導	1 5	がんの医療的サービスと社会的資源		1 5	
相談	1 5				
対人関係	1 5				
看護管理	1 5				
専門科目	1 2 0		演習	4 5	実習
集学的治療を受ける乳がん患者の看護	4 5		学内演習	4 5	臨地実習
乳がんサバイバーとその家族への心理社会的支援	1 5				2 2 5
乳がん患者の意思決定を支える看護技術	1 5				
乳がん患者のボディイメージ変容への看護技術	1 5				
乳がん患者のリンパ浮腫の看護技術	3 0				

国立大学法人 千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター  
認定看護師教育課程（乳がん看護）研修生選抜試験要項

1. 募集人員

分野 乳がん看護 25名

2. 研修生応募資格

次に定める要件を全て満たしている者。

- (1) 高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者、又は文部科学大臣の定めるところによりこれに準ずる学力があると認められた者。
- (2) 日本国の看護師免許を有する者。
- (3) 看護師としての看護実績を5年以上有し、かつ通算3年以上、乳がん患者の多い病棟あるいは外来等での看護実績を有する者。（入学時点で可）
- (4) 乳がん患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。
- (5) 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。

3. 研修生応募手続

(1) 募集要項および出願書類請求方法

募集要項および出願書類一式は、千葉大学大学院看護学研究科の乳がん看護認定看護師教育課程ホームページからダウンロードすること

URL : <http://www.n.chiba-u.jp/nintei/ninteitop.html>

(2) 願書受付期間

平成28年4月1日（金）～ 平成28年4月8日（金）まで【必着】

(3) 出願書類一式

- ① 志願票（様式1） : 本研究科所定のもの。
- ② 選抜料（様式2） : 選抜料50,000円（振込先、振込期間等は5ページを参照）
  - \* 振込後、銀行振込領収書を選抜料振込領収書貼付欄に糊付けする。
  - \* 取扱銀行印のないものは無効とする。
  - \* 銀行振込領収書が貼付されていない場合は、志願を受付けない。
- ③ 推薦書（様式3） : 本研究科所定の用紙で看護部長に相当する職位の方が記入すること。
- ④ 実務研修報告書A・B（様式4-1、4-2）  
: 本研究科所定の用紙で、平成28年3月までの実務研修の経歴および施設概要を記入したもの。（実務研修の経歴は、臨床看護実践の経歴に相当する）

- ⑤ 写真票及び受験票（様式 5）：本研究科所定のもの。
- ⑥ 写 真：3ヶ月以内に撮影したもの3枚（縦4cm×横3cm）  
志願票等の該当欄3箇所に1枚ずつ貼付する。
- ⑦ 志望理由書（様式6）：本研究科所定の用紙で志望理由を記入したもの。  
看護研究実績：発表者名、研究題目、学会・研究会名、発表年を明記すること。（院内発表である場合は、その旨を明記すること）  
研修受講実績：これまでに受講した乳がん看護に関わる研修会名、開催日、主な講師名、主催者などを明記すること。（乳がん看護領域における学会・研究会などのセミナーや院内研修を含む）
- ⑧ 事例要約（様式7-1、7-2）  
：本研究科所定の用紙で2事例、記入すること。
- ⑨ 免 許 証：看護師免許証の写しを提出すること。（A4判に縮小すること）
- ⑩ 受験票返信用封筒：長形3号の封筒（120×235mm）に本人宛の住所・氏名を明記し、書留料・速達料を含む切手（792円分）を貼付すること。
- ⑪ チェックリスト（様式8）

※ 訂正方法について

訂正箇所に二重取消線を引き、押印すること。（修正液等による訂正は認められない）

【注意】提出した書類及び選抜料は、いかなる場合でも返還いたしません。

(4) 出願書類提出方法

①提出書類一式

提出書類	
志 願 票（様式1）	志望理由書（様式6）
選 抜 料（様式2）	事 例 要 約（様式7-1、7-2）
推 薦 書（様式3）	免 許 証（看護師免許証の写し）
実務研修報告書A・B（様式4-1、4-2）	受験票返信用封筒（長形3号）
写真票及び受験票（様5）	チェックリスト（様式8）

※ 【郵送のみ受付】提出書類一式を期間中に簡易書留郵便で郵送すること。提出書類は折らずに角形2号（240×332mm）の封筒に封入し、「選抜試験関係書類在中」と朱書きで明記すること。

②出願書類提出先

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学大学院看護学研究科 認定看護師教育課程  
TEL 043-226-2783

#### (5) 受験票の送付

出願書類を審査の上、受験が認められた者に4月中旬に受験票を郵送する（簡易書留）。  
4月下旬までに受験票が届かない場合は、認定看護師教育課程まで連絡すること。

#### 4. 選抜料

選抜料の支払い方法は銀行振込となります。日本国内のいずれの銀行からも振込み可能（ゆうちょ銀行を除く）。なお、振込手数料は受験志願者の負担となります

(1) 選抜料は50,000円。振込先は下記のとおり。

千葉銀行 ひまわり第一支店

普通預金 2372017

受取人 千葉大学

受取人住所 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

(2) 銀行の振込用紙の「ご依頼人」欄に、「N - 2016」を記入し、続けて受験志願者名を記入すること（「N - 2016」は、本学での受験コードです）。

例：N - 2016 千葉花子

(3) 振込期間は平成28年4月1日（金）～平成28年4月8日（金）

(4) 銀行より振込領収書が発行されるので、領収書のコピーを選抜料振込領収書貼付欄（様式2）に糊付けすること。領収書を受け取った際は出納印を確認すること。

ATM（現金自動預払機）の振込では領収書を受け取ることができません。必ず、窓口から振込むこと。

#### 5. 選抜試験期日

平成28年5月14日（土）

#### 6. 選抜試験会場

千葉大学大学院看護学研究科

交通アクセス：<http://www.n.chiba-u.jp/others/access/index.html>

キャンパスマップ：<http://www.n.chiba-u.jp/others/access/campus.html>

#### 7. 選抜方法

(1) 選抜の方法

専門科目、小論文、面接の結果を総合して判定する。

(2) 日程／内容

期 日	科目名	時間
平成28年5月14日(土)	専門科目	9:00 ~ 10:30
	小論文	11:00 ~ 12:00
	面接	13:00 ~

(3) 注意事項

- ・5月13日(金) 10:00に受験者への注意事項を中庭の看護学研究科掲示板に掲示する。
- ・試験当日の開場は8:15とする。8:40までに検査室に入室すること。
- ・昼食は、各自持参すること。
- ・解答には、黒鉛筆またはシャープペンシル(HB、F)とプラスチック製の消しゴムを使用すること。
- ・当日、受験票を必ず持参すること。忘れたときは、試験本部に申し出ること。
- ・試験会場に時計はないので各自で持参すること。

8. 選抜試験概要

専門科目	客観問題：乳がんの治療と看護の知識を問う。 状況設定問題：乳がん患者の問題状況についてアセスメントし、適切な実践方法の記述能力を問う。
小論文	認定分野に関するテーマについて、思考力・論述力を問う。
面接	一人10分程度。 出願書類の①、③、④、⑦、⑧を参考にして面接を行う。

9. 合格者の発表

平成28年5月26日(木) 13:00～31日(火) 12:00まで中庭の看護学研究科掲示板に掲示する。

その後、看護学研究科のホームページ上で発表する。

平成28年5月26日(木) 14:00(予定)～6月1日(水) 17:00まで。

合格者には本人宛に郵送で通知する。電話やFAXでの合否の問い合わせは受付けない。

10. 受入れ手続期間

平成28年5月30日(月)～平成28年6月10日(金)

※合格通知とともに手続きについて連絡する。

### 1 1. 納付金

研修料 850,000円

納付金は全額・前納とする。

### 1 2. 選抜試験結果の開示について

本選抜試験に関する結果の開示については、平成28年7月8日（金）から平成28年8月8日（月）（ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日は除く）までの間、受験者本人からの申し出により行います。開示する事項は「専門科目、小論文、面接の総合得点と順位」です。なお、その際には受験票が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

### 1 3. その他

出願にあたって提出された個人情報については、本教育課程における選抜試験、合格発表ならびに入学手続きなど、これらに付随する業務においてのみ利用し、それ以外の目的では使用しない。



(様式4-1 記入例)

# 実務研修報告書A 乳がん看護分野

## 1. 実務研修の経歴

1-1) 全実務研修歴 <sup>(※1)</sup>	(期間 <sup>(※2)</sup> 、所属施設名、職位)
2000年4月～2002年3月(19ヶ月間)	所属施設名：〇〇法人〇〇会〇〇〇病院 職位：スタッフナース非常勤(30時間/周)
2002年4月～2003年3月(12ヶ月間) (2003年4月～2005年3月：育休産休)	所属施設名：同上 職位：スタッフナース
2005年4月～2008年3月(36ヶ月間)	所属施設名：〇〇〇〇がんセンター 職位：スタッフナース
2008年4月～2016年3月(96ヶ月間)	所属施設名：同上 職位：主任
合計	163ヶ月間
1-2) 乳がん看護分野歴 <sup>(※3)</sup>	(期間、所属施設名、所属部署名 <sup>(※4)</sup> 、職位)
2002年4月～2003年3月(12ヶ月間)	所属施設名：〇〇法人〇〇会〇〇〇病院 所属部署名：乳腺科外来 職位：スタッフナース
2005年4月～2008年3月(36ヶ月間)	所属施設名：〇〇〇〇がんセンター 所属部署名：乳腺科・胸部外科混合病棟(乳がん患者が50%を占める) 職位：スタッフナース
2008年4月～2016年3月(96ヶ月間)	所属施設名：同上 所属部署名：同上 職位：主任
年 月～ 年 月(ヶ月間)	所属施設名： 所属部署名： 職位：
合計	144ヶ月間

※1 受験志願者の看護師としての看護実践の全経歴を記載する。(准看護師としての看護実践を除く)

※2 西暦で記載する。非常勤の場合は、150時間を1ヶ月に換算して記入する。産休・育休期間を除くこと。

※3 全実務研修のうち、乳がん看護に関する経歴を記載する。

※4 所属部署名とその部署の特徴、対象患者の主な疾患等を記載する。

## 2. 実務研修の実績 概要

上記1-2)に記載した全期間において、乳がん患者の看護を担当した事例数 <sup>(※5)</sup>	50 例
---	------

※5 継続的・中心的に患者に関わった事例の通算(概算)を記入する。

用紙が不足する場合は、この用紙をコピーして使用すること。

(様式4-2 記入例)

## 実務研修報告書B 乳がん看護分野

### 3. 乳がん看護分野歴における実務研修施設の概要<sup>(※6)</sup>

施設名	当該分野に関する患者の年間症例数	「がん診療連携拠点病院加算」、「緩和ケア診療加算」、「緩和ケア病棟入院料」、「外来化学療法加算」「リンパ浮腫指導管理料」「がん患者指導管理料」などの有無など <sup>(※7)</sup>	当該分野の認定看護師及び当該分野に関連する認定看護師・専門看護師の人数とその分野名称 <sup>(※8)</sup>
〇〇法人〇〇会〇〇〇病院	乳がん患者 80例/年	「がん診療連携拠点病院加算」：無 「緩和ケア診療加算」：無 「緩和ケア病棟入院料」：無 「外来化学療法加算」：無  乳腺科外来：有 看護外来：有 乳がん看護に係る外来受診者数： 3000人/年	乳がん看護認定看護師：無 がん化学療法看護認定看護師：無 がん性疼痛看護認定看護師：無 緩和ケア認定看護師：無 がん看護専門看護師：無 がん放射線療法看護認定看護師：無  実務研修指導者：教育担当師長、乳がん看護分野における経験5年以上を有する先輩看護師
〇〇〇〇がんセンター	乳がん患者 200例/年	「がん診療連携拠点病院加算」：有 「緩和ケア診療加算」：有 「緩和ケア病棟入院料」：有 「外来化学療法加算」：有 「リンパ浮腫指導管理料」：無 「がん患者指導管理料」：有	乳がん看護認定看護師：1人 がん化学療法看護認定看護師：1人 がん性疼痛看護認定看護師：1人 緩和ケア認定看護師：1人 がん看護専門看護師：2人 がん放射線療法看護認定看護師：1人

※6 乳がん看護分野歴における施設の実績について、最低3年間分を記載する。

施設が複数の場合、施設ごとに実績を記載する。

※7 該当する加算・入院料について、有・無のどちらかを記載する。いずれも無い場合のみ、乳がん看護に係る専門外来や相談室設置の有無及び年間外来受診者数を記載する。

※8 該当者数を記載する。

該当者が無い場合のみ、受験志願者自身が当該分野の実務研修において主に指導を受けた人を記載する。認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任等で分野の経験の5年以上あるものから指導を受けたことを記すか、あるいは施設外の認定看護師からの指導を受けた場合はそれを記す。

※9 記入しないこと。

#### 【教育機関チェック欄】<sup>(※9)</sup>

- 免許取得後、通算5年以上実務研修をしていること。
- 上記の実務研修期間のうち乳がん患者の多い病棟あるいは外来等で通算3年以上実務研修をしていること。
- 乳がん患者の看護を5例以上担当していること。
- 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。

用紙が不足する場合は、この用紙をコピーして使用すること。

## 案内図



## 亥鼻キャンパスマップ



JR 千葉駅、京成千葉駅到着後、JR 千葉駅東口正面⑦番のバス乗り場から「千葉大学病院」行きまたは「南矢作」行きバスに乗り、「千葉大医学部入口」で下車。